

保健室だより

麻疹(はしか)が流行しています

今年に入り、麻しん(はしか)の患者が近畿を中心に急増しています。予防にはワクチン接種が有効です。これまで麻しんにかかったことがなく、ワクチン接種をしていない、または1回の場合、できる限りワクチン接種をするようにしましょう。流行している場所や地域には極力出向かないようにしてください。

麻しんとはどんな病気ですか？

麻しんウイルスによって起こる感染症です。麻しんウイルスの感染経路は、空気感染、飛沫感染、接触感染で、感染力は非常に強いと言われています。免疫を持っていない人が感染するとほぼ100%発症し、一度感染して発症すると一生免疫が持続すると言われています。

平成19・20年に10～20代を中心に大きな流行がみられましたが、平成20年より5年間、中学1年相当、高校3年相当の年代に2回目の麻しんワクチン接種を受ける機会を設けたことなどで、平成21年以降10～20代の患者数は激減しました。近年では、患者発生の中心は20歳以上の成人と、ワクチン接種前の0～1歳となっています。

どんな症状がありますか？

典型的な麻しんの発症例では、感染後10～14日間の潜伏期を経て、以下の経過をたどります。

初期(カタル期)：

感染力が強い時期、この時期に感染が拡大するため発熱など疑わしい症状があれば病院へ行きましょう。

- ①発熱
- ②風邪症状、咳、鼻水、くしゃみ
- ③目の充血やめやに
- ④口の中の白色の小さな斑点



中期(発疹期)

熱が3日続いて一旦下がり、半日後に熱が再び出る時に、発疹が出始めます。発疹は顔から始まり、のちに体幹部、手足まで広がります。



後期

後期(回復期)：発疹は黒ずんでしばらく残ります。

合併症

○気管支炎 ○肺炎 ○中耳炎 ○脳炎 ○亜急性硬化性全脳炎(SSPE) (麻しんに罹患して治癒した後7～10年後に発症する中枢神経疾患) など

麻疹と診断された場合

学校保健法に基づき、解熱した後3日を経過するまでは登校禁止です。

麻疹に罹った人と接触した場合

麻しんの患者さんに接触した場合、72時間以内に麻しんワクチンの予防接種をすることも効果的であるとされています。罹患したことがない方、2回接種をしていない方は、予防接種を受けましょう。

予防接種に関する情報

○厚生労働省：麻しん・風しん

http://www.mhlw.go.jp/stf/seisakunitsuite/bunya/kenkou_iryuu/kenkou/kekkaku-kansen/shou/kekkaku-kansenshou21/index.html

○文部科学省 学校における麻しん対策ガイドラインについて

http://www.mext.go.jp/a_menu/kenko/hoken/08040804.htm

○京都府医師会

<http://www.kyoto.med.or.jp/service/vaccination.shtml>